

お取引先さまの CSR 評価

当社は、持続可能なサプライチェーンの構築を目的に、お取引先さまとともに CSR 調達の推進に取り組んでいます。その一環として、2019 年から主要なお取引先さまの CSR 調達への取り組み度合いに関する「CSR 調達セルフアセスメント」調査を開始しました。調査の結果、一定水準に満たないお取引様とはオンラインによる面談を実施し、CSR 調査の理解促進と CSR 対応の改善を促す対話を実施しました。この調査は現時点では隔年で実施することにしております。このように継続的に調査を実施することにより、お取引先さまと協力して CSR のレベル向上を図り、サプライチェーンにおける社会的・環境的要素のリスク低減を図ってまいります。

設問項目は次のとおりです。

- 1 コーポレートガバナンス
- 2 人権
- 3 労働
- 4 環境
- 5 公正な企業活動
- 6 品質・安全性
- 7 情報セキュリティ
- 8 サプライチェーン
- 9 地域社会との共生

調査フォーマットとしては、当社が賛同している GCNJ（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）が開示している持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ第 9 弾「CSR 調達 セルフ・アセスメント・ツール・セット」を使用しております。これは CSR 調達調査の項目が当社独自の視点で偏りが出ないようにすること、世の中の情勢や要望に沿った調査をおこなうこと等の考えによるものです。

当社では、2019 年度に実施しました取引先への CSR 調達セルフアセスメント調査について、2021 年度は従来からの原料、物流、資材だけでなく事業部独自の原材料まで対象を広げ、各部署で取引金額の上位 80% 以上及び環境、人権、社会リスクが高いと思われる取引先を選定し、延べ 262 社に対して実施致いたしました。回答のあった全ての取引先に対してフィードバックシートにて回答し、更に得点の高い取引先、得点の低い取引先、サプライチェーンの上流でリスクの高い原材料を取り扱う取引先といった観点で計 16 社に対して、

訪問や面談でフィードバックを実施し、取引先企業の CSR に関わる戦略・方針や考え方、更に環境、安全、人権、労働、地域への貢献といった CSR の取り組み状況を確認し、今後の更なる取り組みを要請いたしました。また CSR 調達セルフアセスメントを実施した取引先に対して、人権方針や CSR 調達ガイドライン、お取引先さまへのお願いといった当社の CSR 調達に対する考え方についての同意書をご提出いただき、当社の考え方を上流の取引先に展開しています。引き続き、2022 年度ではグループ企業のサプライチェーンでの CSR 調達セルフアセスメントも実施を検討しており、更なるサプライチェーンにおける CSR の向上を目指して取り組んでいく予定です。